授業科目	失語症Ⅰ（基礎）				
担 当 者	大西　環				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

失語症の言語治療を行う上で基礎となる知識について講義を行う。

■ 到 達 目 標

失語症と他の言語障害の違いについて説明できるようになる。
失語症状とタイプ分類について理解し、臨床の観察点とすることが出来る。

■ 授 業 計 画

第１回　失語症とは　定義と障害の特徴、臨床の流れ
第２回　言語モデルについて
第３回　失語症の言語症状　流暢性と非流暢性、症状の観察
第４回　失語症の言語症状　発話障害　発語失行、喚語障害、錯語
第５回　失語症の言語症状　発話障害　新造語、ジャーゴン　ほか
第６回　失語症の言語症状　聴覚的理解障害
第７回　失語症の言語症状　読み書きの障害
第８回　失語症のタイプ分類　ブローカ失語、ウェルニッケ失語
第９回　失語症のタイプ分類　伝導失語、健忘失語、全失語
第10回　失語症のタイプ分類　超皮質性失語
第11回　その他の失語症と小児の失語症
第12回　純粋失読、純粋失書、失読失書
第13回　症状の観察
第14回　症状の観察と記録
第15回　まとめと復習

■ 評 価 方 法

筆記試験　100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義後、必ず復習を行って次回の講義に臨むこと。専門用語は、その意味を説明できるようになることを目標に復習してください。

■ 教　科　書

書　名：脳卒中後のコミュニケーション障害
著者名：竹内愛子　河内十郎　編集
出版社：協同医書出版社

■ 参 考 図 書

■ 留 意 事 項

不測の事態（災害等）が発生した際､遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。